

## 平成28年度

### 原町第二小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 込堂小百合

#### 1 学校図書館の概要

##### 学校の紹介

震災の影響による、児童の減少が依然として残るものの、読書意欲の高い児童が多く図書室利用は高い。読書の場以外にも交流の場として入室する児童の姿もよく見られ、開かれた図書室として活用されている。図書室は第一、第二と隣り合った二部屋を使用して運営を行っている。

##### 平成28年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	合計
25名	28名	35名	20名	32名	36名	8名	184名

(平成28年12月末時点)

学校派遣日 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 今村はるみ先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 18,325点

学校図書館受入数(3月末時点) 556点

うち 市費購入数及び金額 186点(333,337円)

うち 寄贈資料点数 370点

#### 2 平成28年度の課題及び目標

1-1 課題 学校図書館の貸出記録簿について、児童が家庭で読んだ本も記載することがあり、正確な記録を記載することができなかった。

1-2 課題 ラベル装備不良の図書が多い。

1-3 課題 クラスによっては、学級文庫として担任の先生が用意した私物図書と学校図書館の図書が置かれてあり、混合する児童がいる。

2-1 目標 児童には、貸出記録簿の使用目的を把握してもらい、学校図書館の貸出記録は貸出記録簿に記入してもらい、児童が読んだ本すべてを記録できる読書記録は、「読書カード」を作成することで対応していきたい。

2-2 目標 全ての資料のラベルを張り直す。

2-3 目標 担任の先生と連携し、学級文庫の管理を徹底する。

#### 3 活動の方針

- ・今年度は本校にとって、初めて支援員が異動した年であるため、前年度の活動を引き継ぐとともに、児童が不安にならないように配慮を行う。
- ・年度初めにオリエンテーションを実施し、貸出記録の正しい使用法を説明することで、学校全体に理解してもらう。
- ・図書については装備作業がしっかりできるように予定を組み、作業時間をしっかり確保する。低学年児童も利用しやすくなるようなラベルの工夫を導入する。定期的な学級文庫の入れ替えを行うことで人気の図書も平等に読書ができるようにする。

### 学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教諭との打合せ</li> <li>・学級文庫の確認</li> <li>・図書館オリエンテーション</li> <li>・開館</li> <li>・ニュースキン文庫選書開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会組織作り</li> <li>・年間計画表作成</li> <li>・図書貸出・返却開始</li> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援員会議①</li> <li>・図書の借用開始</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画「熊本応援エール」</li> <li>・企画「連休関連情報」</li> <li>・企画「愛鳥週間」</li> <li>・学年別読み聞かせ開始</li> <li>・地域資料コーナー設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級文庫の整理</li> <li>・読書祭りポスター作製</li> <li>・毎日のクラス別貸出発表</li> <li>・図書整理</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書祭り開催</li> <li>・企画「梅雨」</li> <li>・企画「杉山亮展」</li> <li>・企画「新聞記事より」</li> <li>・ニュースキン文庫受け入れ</li> <li>・ニュースキン文庫ポップ作成</li> <li>・学年別読み聞かせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援員会議②</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースキン文庫贈呈式出席</li> <li>・企画「おばけ」</li> <li>・学年別読み聞かせ</li> <li>・夏休み貸出準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとしゃかんだより配布</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除籍作業開始</li> <li>・夏休み図書返却</li> <li>・二学期に向けての準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・返却作業と整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援員会議③</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画「オリンピックとパラリンピック」</li> <li>・イベント開催</li> <li>・学年別読み聞かせ</li> <li>・読書週間に向けての準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書委員会発表</li> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館見学（2年生）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画「読書週間を楽しむ」開催</li> <li>・学年別読み聞かせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の読書祭りポスター作製</li> <li>・図書整理</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画「読書週間を楽しむ」</li> <li>・学年別読み聞かせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本の読み聞かせ</li> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援員会議④</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画「クリスマス」</li> <li>・学年別読み聞かせ</li> <li>・冬休み貸出し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館見学（6年生）</li> <li>・子どもとしゃかんだより配布</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休み返却</li> <li>・企画「お正月」</li> <li>・イベント開催</li> <li>・学年別読み聞かせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・返却作業と整理</li> <li>・読書郵便</li> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援員会議⑤</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年別読み聞かせ</li> <li>・返却図書の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新着図書呼びかけ</li> <li>・図書整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館支援員会議⑥</li> <li>・子どもとしゃかんだより配布</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業読み聞かせ</li> <li>・閉館作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の反省</li> </ul>	

## 4 年間活動内容

### 1年間の主な活動記録

#### 4月

・担当の先生と今年度の計画を打ち合わせた際に、全学年のオリエンテーションを依頼。オリエ

ンテーションでは新しい支援員の紹介も兼ねた館内案内とルール、貸出記録の説明を行う。新1年生には特に丁寧に説明をするとともに代本板にわかりやすいイラストを新たに加えた。(写真1)

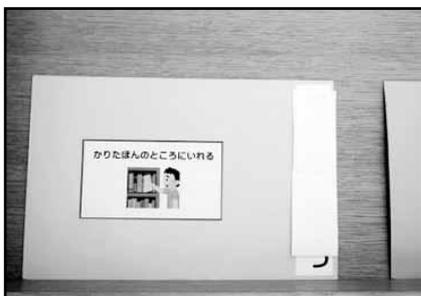


写真1 イラストを加えた新しい代本板

## 5月

- ・校長先生と合同の読み聞かせ開始。1学期のスケジュールは事前に打ち合わせを行い、選書は支援員が複数準備をし、その中で児童の様子を見て校長先生が決定された。プログラムの中にならべ歌や手遊びなども含めて楽しい読み聞かせの時間を企画した。
- ・「熊本支援企画」設立。東日本大震災当時、集英社より『ワンピース』を寄贈で頂いた。今回の大地震が起きた熊本県は『ワンピース』作者の出身地であることから、今回は元気をくれた作者の先生に恩返しをしようという企画を立て、全校生を対象に応援メッセージを募集したところ、多くの児童が参加。〃絆〃を改めて感じるきっかけづくりとなった。

## 6月

- ・絵本作家の杉山亮氏来校にあたり、蔵書を充実させ特別企画展を設置。今まで作品を読んだことのない児童も興味を持ち、借りていく姿が多くみられた。(写真2)
- ・1学期読書祭りを開催。それにあわせてイベントも開き、イベントポスターを図書委員が作成。イベント内容は七夕に合わせた「星に願いを」と梅雨の季節にあわせた「七色雨のしずくのしおりづくり」の二種類を企画。「星に願いを」は七夕の願いを星型の短冊に書き、集まった星型短冊を天の川にみたくて壁面構成の一部に加えた。「七色雨のしずくのしおり」は自分で描いたデザインが最終的に変化をするため、「仕上げは後のお楽しみ」を合言葉に楽しい活動が行えた。読書祭り開催中は普段にも増して利用者が多かった。(写真3・4)
- ・新聞記事を抜粋し企画展を設置。今回は「ニホニウムと元素記号」と「G7伊勢志摩サミット」の紹介。ニホニウムは関連記事として定期購読の雑誌『子供の科学』も使用。児童たちが知っている「セシウム」を紹介すると「セシウムって元素記号だったんだ!」という会話が聞こえた。伊勢志摩サミットの記事は、前編・後編と作成。後編には広島訪問記事をメインにすると、同時に展示をした絵本を借りていく姿も見られた。



写真2 杉山亮展。  
来校後にはサイン本も  
展示に加えた。



写真3 読書とイベントを楽しむ児童

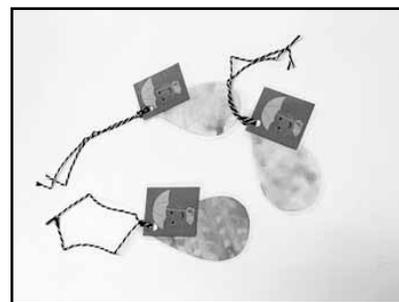


写真4 水彩ペンと霧吹きを  
使ったしおり

## 7月～8月

- ・ 5年生国語の授業より「本の紹介ポスター、ポップ、帯の作成」を学校からの依頼を受け、市立図書館内のポップを参考に国語の授業で活用。出来上がった児童の作品を図書室前の廊下に掲示。
- ・ 利用しやすい図書室に向けて改善。先生方と一緒に実際に図書室の中に入り、使いづらい点などをあげながら改善に向けての相談をする。特に子ども新聞の活用がうまくされていないので、従来設置していた第二図書室から移動し、第一図書室前の廊下、高学年の教室付近に設置。

## 9月

- ・ 3年生に「百科事典の使い方とNDC」の授業を行う。わかりやすく学べるように資料と実践問題を作成。説明のあと、グループごとに5つの事柄を調べた。「つめ」や「はしら」といったしゅきにに基づきながらどの児童も百科事典を引くことができた。実際に百科事典を引いたことで理解を深め、のちの調べ学習の時にも百科事典やNDCを使いながら取り組む姿が見られた。(写真5)
- ・ 企画イベント開催。オリンピック、パラリンピックが賑わい、児童たちの会話の中にもたびたび出てくることから図書室内で「図書リンピック」を開催。多読賞を競い、毎日最優秀多読のクラスを図書委員が発表。個人にもメダルをイメージしたメダリスト認定のしおりをプレゼントした。多くの本を手にとることで、新しい分野への興味を持つ児童が増えた。(写真6・7)
- ・ 2年生市立図書館見学を対応。
- ・ 山形県より学校図書館アドバイザー五十嵐絹子氏が来校。今後の学校図書館の環境などアドバイスをいただく。



写真5 百科事典を引く児童  
「相馬野馬追」の項目を調べ  
実際に百科事典に載っている  
ことを知り、歓声があがる。



写真6 図書リンピックの様子  
各クラスの木に五輪マークの  
シールを貸出ごとに貼る。



写真7 オリンピッククイズ  
オリンピックメダルとパラリンピック  
メダルの違いについても説明して掲示  
をする。

## 10月

- ・秋の読書祭りを開催。読書祭り用の用紙を準備するなど担当の先生と連携を組み合わせながら進める。
- ・定期購読している毎日小学生新聞が企画しているイベントを学校でも行い、創刊80年間の出来事のコーナーを毎日掲示。同時にその日の記事のトピックスを紹介。

## 11月

- ・日本漢字能力検定協会の「今年の漢字」を募集する企画を開催。資料として今年の出来事をファインリングしたものと漢字に関する本を準備する。(写真8・9)
- ・読書祭りの統計と総冊数を発表。

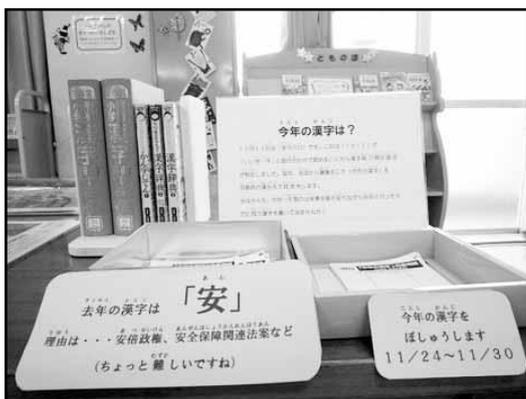


写真8 特に多かった漢字は、アメリカの大統領選や、東京都知事選の「米」「都」オリンピック関連の「輪」などが目立った。



写真9 今年の子供たちの出来事を振り返りながら漢字を決める児童。

## 12月

- ・6年生市立図書館見学を対応。市立図書館のユニバーサルデザインについて案内をする。事前に担任の先生と打ち合わせを行い、必要な資料を作成し準備をした。当日は資料をもとに図書館の中を見学し、公共施設の在り方などを学ぶことができた。(写真10)
- ・毎週昼休みに行っている「読み聞かせ」の中ではわらべ歌も取り入れ、風習や郷土についても学ぶ時間としている。今月は6年生と特別支援学級で行った。6年生は「アイヌ関連」、特別支援学級は「ドングリ関連」の本とわらべ歌を行った。(写真11)



写真10 ユニバーサルデザインの学習で市立図書館に来館。興味を持ちながら説明を受ける児童。



写真11 アイヌの昔話と、アイヌ語のわらべ歌を楽しむ児童。

## 1月～3月

- ・2月に校内で行われる日本漢字能力検定に向けて、漢字クイズのイベントを企画。低学年から高学年までの漢字のプリントを作成。チャレンジしたらスタンプを押し、楽しみながら取り組める活動を行う。今年度購入した漢字辞典を使いながら学べるよう声をかけるなど支援員がサポートをした。

## 5 中央図書館からのサポート内容

- ・市図書館費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・寄贈図書館費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 668点/年

## 6 学校図書館利用実績

### (1) 年間貸出点数

#### ① 個人貸出点数 (単位：点)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	総合計
年間合計	494	811	1,190	389	412	1,290	382	4,968
一人あたり	19.8	29.0	34.0	19.5	12.9	35.8	47.8	27.0
一人あたりの 昨年度比	55%	50%	110%	115%	36%	309%	165%	83%

※1人2冊1週間の貸出（1年生は1人1冊1週間の貸出）

#### ② 学級文庫貸出点数 (単位：点)

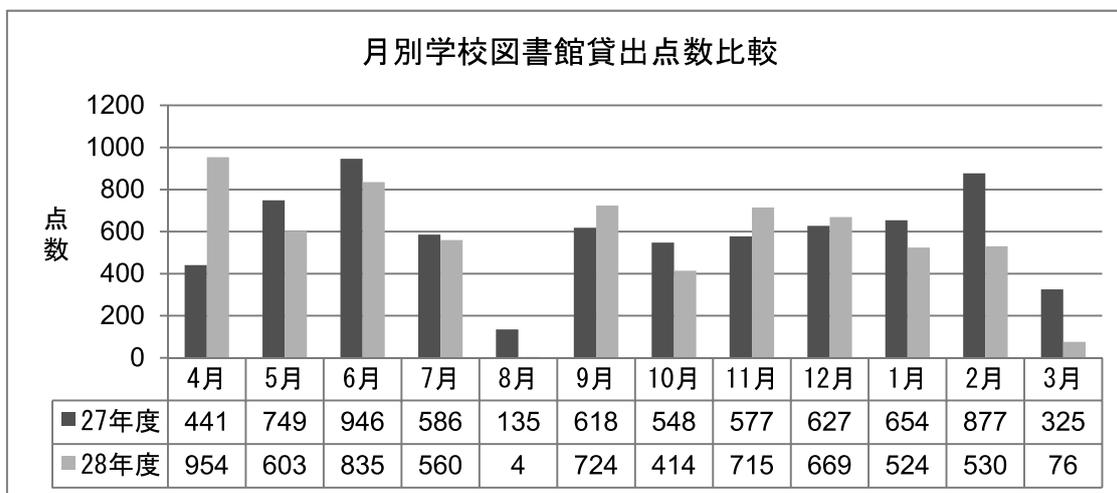
	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (2クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	165	97	305	98	58	296	243	1,262

#### ③ 調べ学習等貸出点数 (単位：点)

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (2クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	0	88	158	67	48	3	14	378
昨年度比	0%	92%	790%	168%	155%	3%	350%	114%

## (2) 学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出点数の比較



図書室側からの働きかけがあった時期の貸出率は大変伸びている。しかし、学校行事が重なると足が遠のく傾向が見られるため、次年度は図書担当の先生とも相談し、読書を楽しむための導入作りを今後も続けていきたい。

## 7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

### (1) 本年度の成果

- 3-1 オリエンテーションを行うことで、貸出記録簿を正しく使用する児童がほとんどだった。家庭での読書記録については「こころの本だな」という読書記録カードを作成し、どの本も記録に残せるようにできた。
- 3-2 全ての資料のラベルを直すことは出来なかったが、9類や調べ学習でよく使う4類を主に直すことが出来た。
- 3-3 特別支援学級にある私物の図書に関しては「ひばりぶんこ」のラベルを貼ることで他の図書と混同しないように工夫した。

### (2) 来年度に向けた課題

- 4-1 一人にかかる貸出手続き時間が長く、図書委員と一緒に対応しても待たせることが多くなってしまったので、来年度はもう少し貸出方法の簡素化を工夫する必要がある。
- 4-2 全てを正しいラベルに直すため、年度の初めに計画を立て、引き続き作業を行う。
- 4-3 定期的な学級文庫の入れ替えは出勤週3日で行うのが難しかった。来年度は事前に学級文庫の計画表を作成し、児童が選ぶのか、支援員が選ぶのか確認をしながら、担任の先生との連携を組む必要がある。
- 4-4 授業で活用しやすい資料を提供し、児童や先生からの資料相談（レファレンス）に対応できるように努める。